

Victory

NO.4

令和2年7月

宮崎県立宮崎西高等学校
・附属中学校図書館

梅雨明け宣言が待ち遠しい今日この頃。20日に鹿児島県奄美諸島の梅雨明け宣言が出されましたが、例年より21日遅れのこれまでで一番遅い梅雨明け宣言だったようです。先週末から、日差しの強さを感じる宮崎ですがもうそろそろ…かもしれませんね。

7月初めに七夕の願い事を書いてもらいました。どうぞ、皆さんの願いが叶いますように。



夏期貸出のお知らせ

貸出期間：7月20日（月）～8月7日（金）

貸出冊数：ひとり10冊まで

返却期日：8月18日（火）

- 「読書感想文課題図書」、「YAの君たちに贈る一冊」、「理科読」、「中学生に読んでほしい30冊」、「高校生に読んでほしい50冊」、「ナツイチ」、「新潮社の100冊」などコーナー多彩！この夏、君はまたグンと成長する。



扉を開こう。新たな世界が君を待っている。

今年の夏休みは、これまでになかった時間の流れを体感すると思われま

す。「With コロナ」で、自らの内面を高める時間の確保を。

ここでは、様々な出版社が毎年夏に企画しているフェアを紹介します。

いずれも図書館の各コーナーに設置しているので利用しましょう。



第66回青少年読書感想文 全国コンクール課題図書

中学校の部、高等学校の部それぞれ3作品です。

作品の書名やあらすじは『散歩道』（図書委員会発行）で詳しく紹介されます。なお、それぞれ3冊ずつ用意しています。



『中学生に読んでほしい30冊』 『高校生に読んでほしい50冊』

（各自に冊子を配布します。）

『新潮社の100冊』 『ナツイチ』

出版社によるセクションです。

新たな一冊と出会えますように。



『YAの君たちに贈る一冊』

もともとは「朝読ブック

ガイド」のセクション。

本校にあるものを集めてみ

ました。「ロングセラー」

「知りたい」「ハマる」

「感動」「考える」「あじわう」

「チャレンジ」のキーワード

で気分に合わせてどうぞ。





『新聞をどう読むか』基本の「き」：新聞活用法



～夏休みに新聞を読んでみよう。～

本校図書館の購読新聞はこちら。

『朝日新聞』『毎日新聞』『読売新聞』
『日本経済新聞』『宮崎日日新聞』
『The Japan Times』『ALPHA』
『MAINICHI WEEKLY』

新聞のつくりを知ろう。

【新聞】定義：社会におこったできごとについて、事実や解説などをすばやく広く伝えるための定期刊行物。

(総合百科事典ポプラディア5〔し〕p267)

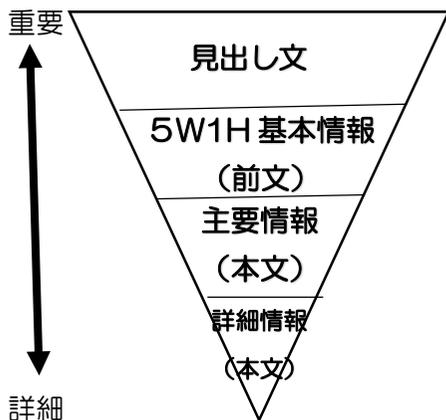
○特性をつかむ○

- * 日々起こる日常の事件、事故、政治、経済、文化、国際情勢等のニュースを伝えるメディア。
- * 掲載される記事は、制作側（各新聞社）の価値観を元に構成される。
- * 事実を元にした記事が多数だが、無数にある事実の中から特定の事実が選択されていることに気をつける。⇒ 複数の新聞を比較するとよい。

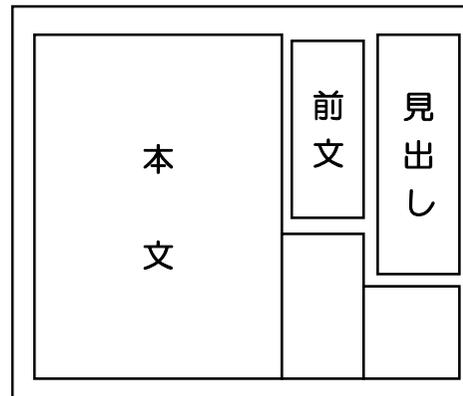
○記事の種類○

- ① 事実を伝える記事
- ② 事実を元に書き手の考えや意見を加えた社説やコラムのような記事

○記事の構成○



○記事の構造○



○紙面の構成○



- ① 紙面は右上から左下に向かって、重要度に応じて配置される。
- ② 1面の右上配置記事はトップ記事。その日のニュースで一番重要な記事。

↓ **ここでCHECK!**
学校図書館で複数の新聞の一面を読み比べてみよう！
各新聞社の考え方が見えてくるだろう。

今回は、記事のジャンルや読み方についてレクチャーします。

○新聞の役割○

当初、私たちに社会で起こったニュースをいち早く届ける役割を担っていた新聞は、現在様々なメディアの発達で「速さ」を追究した発信のあり方から『ニュースをわかりやすく解説する方向』に重点を移しています。とはいえ、読み手である私たちが書かれた記事や解説に対する視点をクリティカル（批判的）に捉える姿勢を身につけたいものです。